

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。またテキストは出版社の都合により変更の可能性があります。

講座名 講座コード	英語基礎 010001A	担当者	よしだ ゆきひこ 吉田 悠樹彦	火曜日
サブタイトル	ヒットソングで英語基礎			
対象レベル	基礎			
講座の内容	<p>ジャズやポップスの名曲を通じて英語の基礎を学びましょう！英語の学習経験があるが、再度挑戦してみたい方、苦手としている事があるが、ゆっくりでもしっかり取り組んでみたい方、あるいは長い間離れていたが必要があって学びたい方におすすめの講座です。人気の曲の歌詞や文化的・歴史的背景から英語を学びます。英語は現代日本において、グローバル化・社内英語化などで必要とされている言語です。これまで学んだ文法を復習し、解らないことを再度理解することで、「聴く」「読む」「話す」「書く」(4技能)の苦手とする部分をそれぞれ伸ばしていけるようにします。発音の基礎も学びます。</p> <p>社会活動や国際交流の場において問題発見・解決の為に語学を活かせることを目指します。講座では古典的な受験英語・暗記偏重に捉われすぎることなく、現代の英語学習法や社会・文化との接点から新たな切り口についても知っていけるようにしています。実践的なスコアアップ・スキルアップをめざし、受講者にとって解りにくい単元や内容も明確にし、具体化して取り上げながら、それを解りやすく解説し理解していくことも行います。TOEIC®のReadingに取り組んでいる方や初中級クラスを終わらもう一度立ち返って文法の基礎を復習したい方も、総復習ができるように工夫しています。発音のコツについても学びます。</p> <p>この講座は大学生・社会人を対象にした英語学習を通じた人材開発、リメディエーション、リカレント教育も視野にいれています。具体的には中国の外交官たちが使用している、40歳を過ぎても効果的と語られることもある、北川達夫の記憶術を用いた英語学習を踏まえながら単語や文法の学習を再考したり、コミュニケーション理論、各種サイトやアプリなどデジタルメディアを通じた学習法、記憶を通じた認知・脳科学にも触れます。もし仮に人生ならではの紆余曲折があっても、結果として自分で何度でも再トライする姿勢・初心に戻り挑戦を重ねていく力を育むことを目指します。</p>			
講座の進め方 ・到達目標	<p>文法を中心にレベルアップを行いますが、それ以外にも参考書・資料を使って英語や英語学習の枠組みを広げていくことも行います。</p> <p>予習はしてきてください。希望があれば定着のための確認テストや単語テストも行います。講座を通じて、次の段階の英語初級レベルや TOEIC®クラスへつなげていけるようにします。</p>			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input checked="" type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input checked="" type="checkbox"/> 文法 <input type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション			
授業言語	<input type="checkbox"/> 当該言語のみ <input type="checkbox"/> 当該言語と日本語 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ			
使用予定教材	<input type="checkbox"/> プリント配付			
	著者名	角山 照彦, Simon Capper		
	書名	『ポップスで学ぶ総合英語 改訂新版 / English with Hit Songs, -New Edition-』		
	出版社名	成美堂		
備考				

TOEIC® はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

本誌は ETS の検討を受け、またはその承認を得たものではありません。

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。またテキストは出版社の都合により変更の可能性があります。

講座名 講座コード	英語初級 010002A	担当者	かとう あゆ 加藤 彩雪	木曜日
サブタイトル	身近なテーマで学ぶ英語			
対象レベル	初級			
講座の内容	この講座は、中学や高校で学習した基礎英文法をもとに、楽しく、落ち着いた環境で学習することを目的としています。授業内では「読む・書く・聴く・話す」の 4 技能を満遍なく学習しますが、特に「話す」と「書く」ことを中心に、どのように英語を「アウトプット」するのかということを学びます。様々な場面に応じた英語を習得することができ、自信につながります。			
講座の進め方 ・到達目標	授業内では、受講生が語り合いながら英会話を学びます。また、メールや手紙など、日常生活の中で役立つライティング力も身に付けます。加えて、映画やニュースを用いて、リスニング力の向上も目標としながら授業を進めます。			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input checked="" type="checkbox"/> 作文 <input type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input checked="" type="checkbox"/> 文法 <input type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション			
授業言語	<input type="checkbox"/> 当該言語のみ <input checked="" type="checkbox"/> 当該言語と日本語 <input type="checkbox"/> 日本語のみ			
使用予定教材	<input type="checkbox"/> プリント配付			
	著者名	J. C. Richards		
	書名	<i>Interchange Level 1 Student's Book with Online Self-Study (5th Edition)</i>		
	出版社名	Cambridge University Press		
備考				

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。またテキストは出版社の都合により変更の可能性がります。

講座名 講座コード	英語でニッポン 010003A		担当者	バラダッド リチャード Baladad, Richard	水曜日
サブタイトル	Talk in English about everyday life and culture in Japan				
対象レベル	初級～中級程度				
講座の内容	留学先や出張先で、日本のことを英語でうまく説明できたら…と思ったことはありませんか？ また、日本文化を英語で紹介できたらコミュニケーションの幅が広がると思いませんか？ この講座は下記のテキストを利用し、参加者それぞれの経験を生かしながら日本文化について英語で学んでいきます。講師や他の受講生と英語で会話をしながら、日本の知識と英語コミュニケーション能力を楽しく身につけましょう。				
講座の進め方 ・到達目標	授業は英語で行います。日本を紹介する英語テキストを使用し、毎回キーとなる単語の学習の後、習った単語を用いた短い英文を作ることで単語力や使える英語表現を増やします。また、グループディスカッションを取り入れ、リスニング、会話力のレベルアップを図ります。 興味深いピックについて、英語でのディスカッションを通して是非、一緒に日本文化を再発見しましょう！				
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input checked="" type="checkbox"/> 文法 <input checked="" type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション				
授業言語	<input checked="" type="checkbox"/> 当該言語のみ <input type="checkbox"/> 当該言語と日本語 <input type="checkbox"/> 日本語のみ				
使用予定教材	<input checked="" type="checkbox"/> プリント配付				
	著者名	Simon Capper			
	書名	<i>This is Japan</i>			
	出版社名	Macmillan Language House			
備考					

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。またテキストは出版社の都合により変更の可能性がります。

講座名 講座コード	英語中級 010004A	担当者	トラブ トビー Traub, Toby	月曜日
サブタイトル	English from the Soul			
対象レベル	中級			
講座の内容	この講座は、英語でのコミュニケーション能力を向上させることを目的とします。特に会話とリスニングに重点を置きつつ、4技能のスキルの習得を目指します。様々なトピックについてディスカッションを行うことで、滑らかな英語と確かな英語力を身につけていきましょう。			
講座の進め方 ・到達目標	教科書と補助教材(毎週配付します)を使い、音声や映像を交えてリスニングを行います。リスニングの題材には、ポップスやオールディーズなどの音楽も使用していきます。課題として翌週のディスカッションのための短文のライティングをほぼ毎週課す予定です。また、期間中に少なくとも1回、グループでプレゼンテーションを行います。			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input type="checkbox"/> 文法 <input checked="" type="checkbox"/> 発音 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション			
授業言語	<input type="checkbox"/> 当該言語のみ <input checked="" type="checkbox"/> 当該言語と日本語 <input type="checkbox"/> 日本語のみ			
使用予定教材	<input type="checkbox"/> プリント配付			
	著者名	Casey Malarcher		
	書名	<i>Reading Advantage, 3/e Level1 : Student Book (96pp) with Audio CD</i>		
	出版社名	Cengage Learning		
備考	この講座は基本的に英語で進行しますが、必要に応じて日本語も交えて説明します。			

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。またテキストは出版社の都合により変更の可能性があります。

講座名 講座コード	英語でアメリカ 英会話編 010005A		担当者	チェン アンドリュー Chen, Andrew	月曜日
サブタイトル	テレビドラマの英会話				
対象レベル	中級程度。 大学初年で十分読めるものになっています。				
講座の内容	現代アメリカの文化について、アメリカ人の講師から直接英語で学び、講師や他の受講生と英語で語りながら、読解、スピーキングとリスニング力の向上を図ります。読みものやドラマを用いながら、毎週違うテーマを扱い、アメリカというダイナミックで、バラエティーに富んだ国の生活習慣・文化・社会について楽しく学んでいきます。				
講座の進め方 ・到達目標	講座は英語で行います。毎回の講座では、その週のテーマを扱った読解演習を行います。続いて、ドラマなどのヴィジュアル資料をもとに、その内容について英語で意見交換を行います。ドラマに出てくる単語などを学習するだけでなく、アメリカの現状や社会問題についての理解を深めます。今回使用するテキストは大ヒットコメディドラマシリーズ『グリー』(新刊)。重要な文法項目と表現の習得に重点を置き、重要語彙、穴埋め表現確認、台詞確認、発音、内容の真偽確認、会話のディクテーション、ディスカッション等、入念に練られた練習問題が特徴です。				
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input type="checkbox"/> 作文 <input type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input checked="" type="checkbox"/> 文法 <input checked="" type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション				
授業言語	<input type="checkbox"/> 当該言語のみ <input checked="" type="checkbox"/> 当該言語と日本語 <input type="checkbox"/> 日本語のみ				
使用予定教材	<input type="checkbox"/> プリント配付				
	著者名	角山照彦 / Simon Capper			
	書名	『Communicate in English with glee — The Road to Sectionals Episodes 5, 11 & 12 / 「グリー」で学ぶコミュニケーション英語② 地区大会への道』			
	出版社名	松柏社			
備考					

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。またテキストは出版社の都合により変更の可能性があります。

講座名 講座コード	英語でアメリカ ディスカッション編 010006A	担当者	チェン アンドリュー Chen, Andrew	火曜日
サブタイトル	19 世紀のアメリカの人種と文化			
対象レベル	上級程度。 ディスカッション中心に講座を行いますので、さまざまなトピックについての会話や文章の一定の理解力と積極的に英語で発言を行う姿勢が受講の条件となります。			
講座の内容	<p>この講座では、読解力、ディスカッション力と会話表現力を、 <i>Iron Cages: Race and Culture in 19th-Century America</i> を読みながら養成していくことを目標とします。Iron Cages には 19 世紀のアメリカの白人がアジア人、黒人、メキシコ人、ネイティブアメリカンに対してどのような態度を示していたのか、独自の比較分析が記されています。</p> <p>そこにはアメリカにおける人種と文化に関する基礎的な研究成果がまとめられています。</p> <p>著者のロナルド・タカキ氏は、アメリカの健全な社会は異文化間の協力や理解のうえに築かれた、全てのアメリカ人(人種や文化に関わらず)の能力にかかっていると主張しています。</p> <p>2050 年にはすべてのアメリカ人がマイノリティになることを見越して、タカキ氏は我々に問いかけます。「アメリカは平等の約束を守るのか、それとも多様性を排して人種を分け隔てる衝突を引き起こし、国家を壊しかねない”Iron Cages”に後退してしまうのか？」</p> <p>Iron Cages は辛辣で挑発的ではありますが、アメリカの人種関係の歴史を学ぶ上で不可欠な資料であり、民族史に興味のある人々にとって非常に重要な書籍です。</p>			
講座の進め方 ・到達目標	<p>英語で進行する講座です。知りたい内容、伝えたい内容があつてはじめてコミュニケーションは生まれます。授業では、まず文法や語彙、内容の背景知識を理解し、次に、与えられたテーマに対して、興味を持って情報を得る活動につなげ、さらに、自分が感じたことや考えたことを「発信する活動」へと広げます。このような過程を経ることで、発信すべき内容・情報を意識したコミュニケーション力を身につけることが目標です。</p> <p>リーディング、リスニングに加え、英語でのディスカッションスキルの向上を図り、議論を通じて真実と現実を模索しながら、批判的思考スキルを磨きます。</p>			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input type="checkbox"/> 聴解 <input checked="" type="checkbox"/> 文法 <input checked="" type="checkbox"/> 発音 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション			
授業言語	<input checked="" type="checkbox"/> 当該言語のみ <input type="checkbox"/> 当該言語と日本語 <input type="checkbox"/> 日本語のみ			
使用予定教材	<input checked="" type="checkbox"/> プリント配付			
	著者名			
	書名			
	出版社名			
備考	<p>【参考】</p> <p>著者名: Ronald Takaki</p> <p>書名: <i>Iron Cages: Race and Culture in 19th-Century America</i></p> <p>出版社名: Oxford University Press</p>			